



品番 FA10383 (20分定格型) FA10386 (60分定格型)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

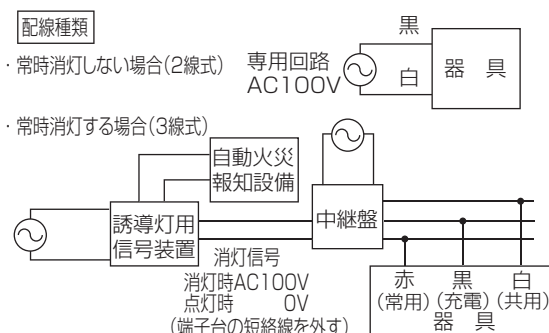
- この器具は、リニューアル専用器具です。既設の取付ボックス以外には取付けしない。
施工に不備があると、浸水による火災・感電の原因となります。
- 取付ボックス側面の水抜き穴を使用して、排水管工事を行う。
施工に不備があると、浸水による火災・感電の原因となります。
- フォークリフト等の重量運搬車の通る所には使用しない。
破損の原因となります。
- 施工は、取付方法にしたがい確実に行う。
施工に不備があると正しい避難誘導ができないほか、火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しない。
火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると火災・感電の原因となります。
- 蓄電池を、短絡・分解等しない。
火災・感電・破裂・やけどの原因となります。
- D種接地工事をおこなう。
接地が不完全な場合、感電の原因となります。
- 感電・火災の恐れあり。
ポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルを使用される場合は、
端末部付近の絶縁体露出部には絶縁テープなどで覆い保護を施してください。
電線の劣化による火災・感電の原因となります。
- 施工面と器具表面が必ず平滑になるように特に注意して施工処理を施す。
器具表面が施工面より出ている場合、転倒によるケガのおそれがあります。
- 保護ガラスの取扱いには十分注意する。保護ガラスには強化処理を施していますが、落下させたり端部を
ぶつけるなど衝撃が加わることで細かい破片となって突然飛び散り、ケガのおそれがあります。

⚠ 注意

- この器具は屋内用器具です。
湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する
場所では使用しないでください。
電源線、取付部からの水の滴下等の浸水がある所でも使用できません。火災・感電の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。
指定外の周囲温度で使用すると、火災や蓄電池の劣化および非常点灯しない原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。

使用上のご注意

- この器具の電源は誘導灯専用回路にしてください。
- この器具は常時、連続点灯して使用してください。
常時、消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を
得てください。自動火災報知設備との連動が必要のため、
誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。
- 24時間充電後→非常点灯の確認をしてください。
電池は設置後通電し、充電しないと点灯しません。
- 電源を通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。
蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。



各部のなまえと取付けかた



警告

施工は、施工説明にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電の原因となります。

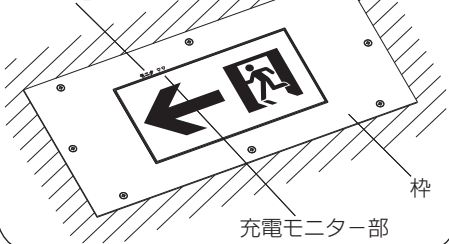
適合表示板

FK10096, FK10097, FK10098

枠取付方法

枠の「モニタ」表示が充電モニター側になるように取付ける。

「モニタ」表示



充電モニター部

「オモテ」
表示部

ランプユニット

表示板 (別売)

充電モニター (緑)

ランプコネクタ

ランプモニター (赤)

リモコン受光部

アース端子

電源ユニット

電源ブッシング

取付台

電源線

取付台側面切欠き部

取付ボックス (既設)

(FAX11702N, FA11702P, FA11702Z,
FA11703, FA11704, FW11713, FW11714)
上記以外の場合は、取付ボックスをFK11701に
取り替える必要があります。

「モニタ」表示部

取付ネジ (8本)

取付ネジは既設の器具部品を
使用してください。

枠

パッキン

パッキンリブ部

保護ガラス

ランプユニット

自己点検スイッチ

ランプユニットセット

点検スイッチ

ランプコネクタ

蓄電池コネクタ

蓄電池

電源ユニットパッキン面

誘導灯ブロック

リセットスイッチ

角穴 (4カ所)

取付台突起部

本体

取付補助金具

アース線

取付台取付方法

取付ボックス内ブリッジと取付台側面の
切欠きを合わせて取付ける。

ブリッジ

取付ボックス

取付台

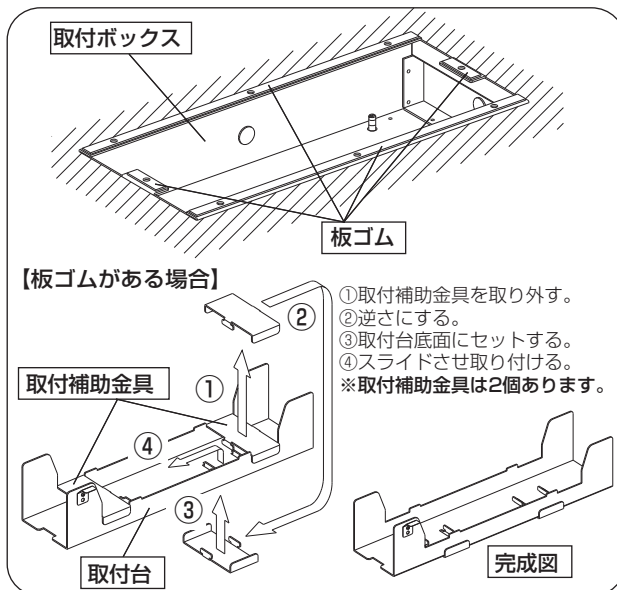
各部のなまえと取付けかた (続き)

1. 器具施工準備

- ・既設の器具を取り外す。
- ※既設の器具に使用している取付ネジ(8本)は使用します。
- ・水のかかるおそれのある場所で使用する場合は、排水工事が行われていることを確認してください。
- 施工に不備があると故障・感電・火災の原因となります。
- ・枠、パッキン、保護ガラス、ランプユニットセット、電源ユニット、本体、取付台(取付補助金具付き)を取り出す。
- (本体内のダンボールパットは取り出す)

2. 取付ボックス(既設)の板ゴムの有無確認(右図)

- ・取付ボックスに貼付けられている板ゴムの有無を確認する。
- 【板ゴム無しの場合】手順3に進んでください。
- 【板ゴム有りの場合】取付台取付時に右図の様に、取付補助金具(2ヶ)を取付台の底面にセットしてください。

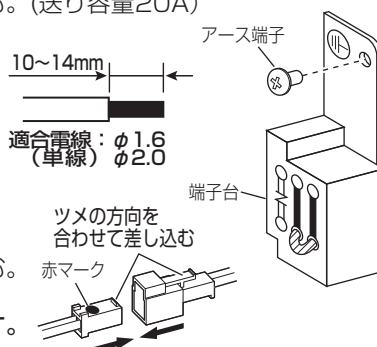


3. 取付台(取付補助金具付き)・本体を取付ける

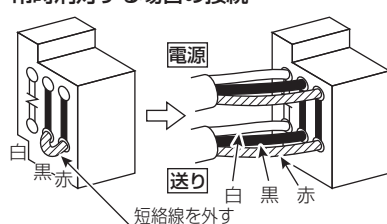
- ・取付ボックス内部のブリッジと取付台側面の切欠きが合うように、取付台を取付ける。(2ページ目右下図参照)
- 取付に不備があると、浸水・転倒の原因となります。
- ・取付台の突起部(4ヶ所)と本体底面の角穴が合うように、本体を取付ける。
- ※取付台と本体の間に電源線及びアース線が挟み込まれないように注意すること。取付に不備があると、感電の原因となります。

4. 電源線・アース線の接続

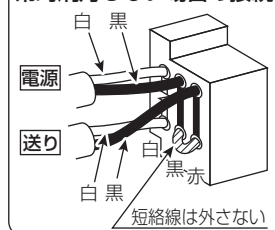
- ・電源線及びアース線を本体側面の電源プッシングに通す。
- ・器具内の端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む。(送り容量20A)
- ・常時消灯する場合は短絡線を外してください。
- ※常時消灯する場合は、所轄消防署の承認が必要です。
- ・アース線を接続する。D種接地工事が必要です。
- 接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因となります。
- ・接続後、電源ユニットを本体に収納する。



常時消灯する場合の接続

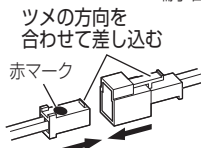


常時消灯しない場合の接続



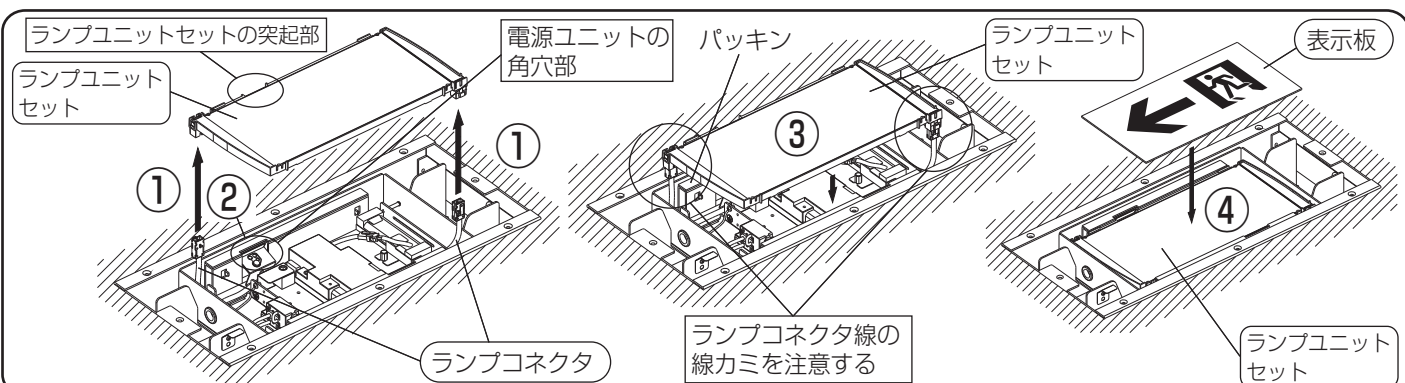
5. 蓄電池コネクタの接続

- ・蓄電池コネクタの方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
- 方向を間違えると器具が故障します。
- 接続が不完全な場合、非常点灯しない原因となります。



6. ランプユニットセット・表示板の取付け及び充電状態の確認(下図)

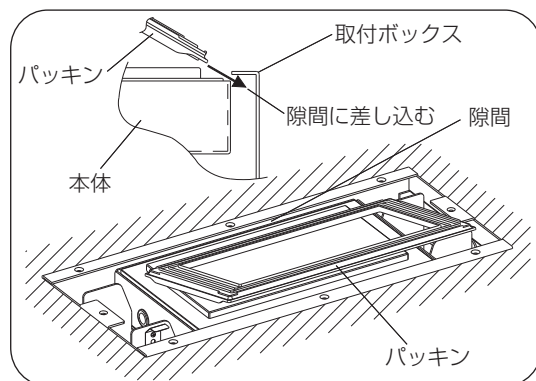
- ①ランプユニットセットの突起部が電源ユニットの角穴部に合う方向で、ランプユニットセットにランプコネクタ(2個)を確実に接続する。接続が不完全な場合は、動作不良の原因となります。
- ②電源通電状態で充電モニター、ランプモニターの状態を確認する。
正常状態……充電モニター(緑)は点灯、ランプモニター(赤)は消灯
・点検スイッチを押し、非常点灯に切り替わるのを確認する。(点検中、充電モニター(緑)は消灯)
正常に動作しない場合は「故障かな?と思ったときは」の項を参照してください。
- ③ランプユニットセットを電源ユニット内に収納する。
※ランプユニットセットの表面に貼り付けているシートは、はがさないこと。
はがすと光学性能が低下する原因となります。
※ランプコネクタ線がかんだり、パッキンにのり上げたりしないよう注意すること。
取付に不備があると、感電・火災の原因となります。
- ④収納したランプユニットセットの上に表示板(別売)をのせる。
※表示板には方向性があるので、銘板を貼り付けている方向を下面にして取り付けてください。
取付に不備があると、光学性能が低下する原因となります。



各部のなまえと取付けかた (続き)

7.保護ガラス・パッキン・枠の取付け

- ・保護ガラスを電源ユニットのパッキン面にのせる。
 - ※保護ガラスの取扱いには十分注意してください。保護ガラスには強化処理を施していますが、落下させたり端部をぶつけるなど衝撃が加わることで細かい破片となって突然飛び散り、ケガのおそれがあります。
- ・取付ボックスと本体の隙間にパッキンを差し込む様にしてパッキンをはめる。(右図)
 - ※パッキンは「オモテ」表示が上になるように取り付けてください。
- ・パッキンのリブ部が枠の内側から出るように枠をセットする。
- ・枠の取付ネジ(8本)を使って枠を取付ボックスに固定する。
 - ※取付ネジ(8本)は既設の器具部品を使用してください。
 - ※枠は保護シートを剥がしてから取付けてください。
 - ※枠の「モニター」表示が、ランプモニター・充電モニター側になるように取り付けてください。取付に不備があると、モニター類が確認できません。(2ページ目左上図参照)



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

- ・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。
火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがした場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしない。
破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しない。
感電・やけどの原因となります。
- 蓄電池のショートは絶対にさける。
火災・破裂・感電・やけどの原因となります。

⚠ 注意

- ランプユニットおよび誘導灯ブロックは、絶対に分解しないでください。
感電の原因となります。
- 長時間器具を使用しないときは、蓄電池を外してください。
蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 照明器具には、寿命があります(※1)
法令に基づいて定期的に点検を実施してください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などにいたる場合があります。

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。

保証について

- ・保証について……この商品の保証期間は1年間です。
ランプ・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について……保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。



Ni-MH

この器具は、“ニッケル水素電池”を使用しております。ご使用済みの“ニッケル水素電池”は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちしていただくか、または“一般社団法人JBRC”に依頼してリサイクルしてください。

お手入れ・部品交換

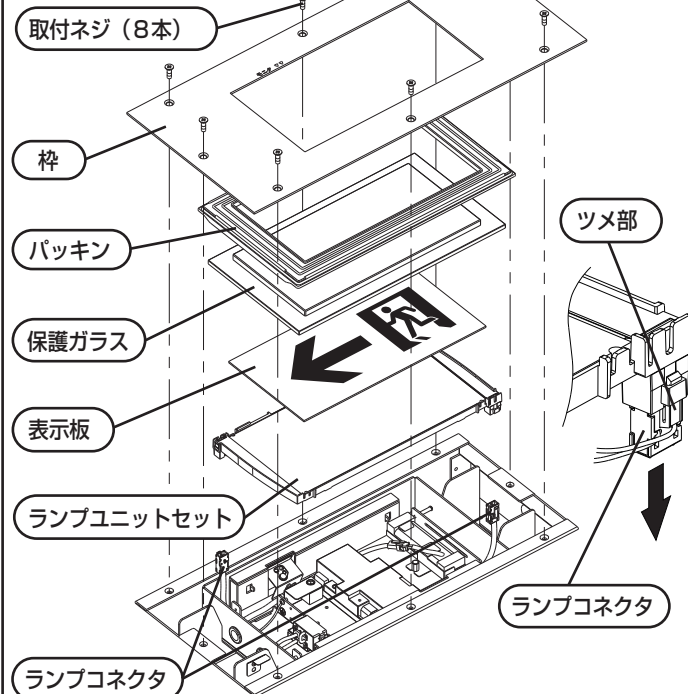
- 器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- 表示板の交換について・・・長期使用により、表示効果が低下(変色・退色)した場合は表示板を交換してください。
- 蓄電池交換について・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
- ランプユニットの交換について・・・ランプモニターが赤色点滅するとランプの交換時期です。(通電60000時間後)
(注)ランプモニターが点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色等の場合はランプを交換してください。

<蓄電池交換方法>

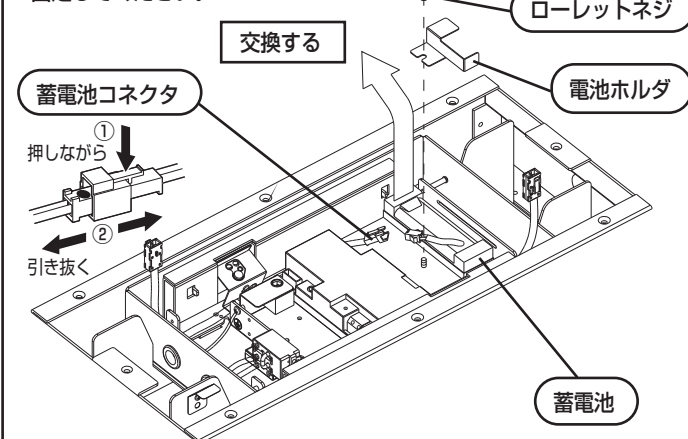
[交換部品]

蓄電池	FA10383	品番:FK731(2.4V 700mAh)
	FA10386	品番:FK736(3.6V 700mAh)

- 取付ネジ(8本)を外して、枠、パッキン、保護ガラス、表示板、ランプユニットセットを取り外す。
※保護ガラスの取扱いには十分注意してください。保護ガラスには強化処理を施していますが、落下させたり端部をぶつけるなど衝撃が加わるにより細かい破片となって突然飛び散り、ケガのおそれがあります。
注)ランプユニットセットにはランプコネクタが接続されていますので、取り外してください。
注)ランプコネクタはツメ部を押しながら取り外してください。



- 蓄電池コネクタ、ローレットネジ、電池ホルダを外し、蓄電池を交換する。交換後は、電池ホルダをローレットネジにて確実に固定してください。



- 交換後の取付は「各部のなまえと取付けかた」の手順5.6.7に従って取付けてください。

<ランプユニット交換方法>

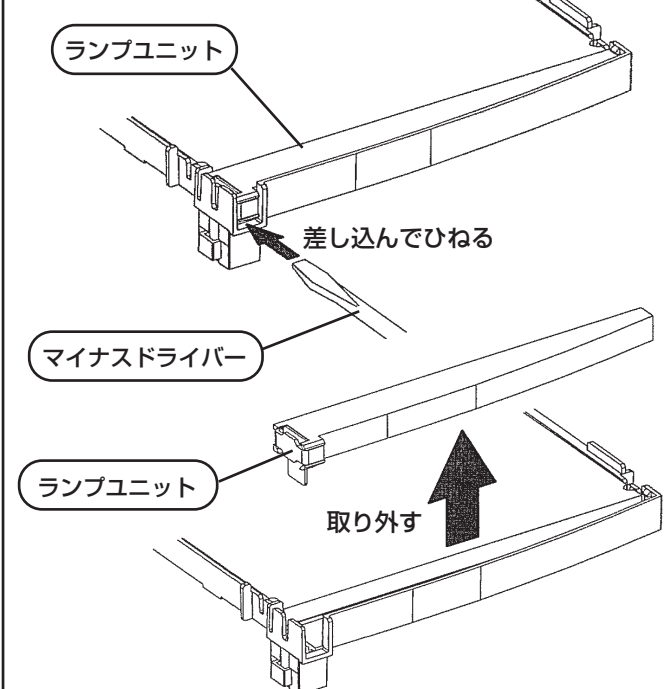
交換部品 ランプユニット 品番:FK92111

- ※パナソニック製ランプをご使用ください。
- ※ランプユニットの交換は必ず2本同時に行ってください。

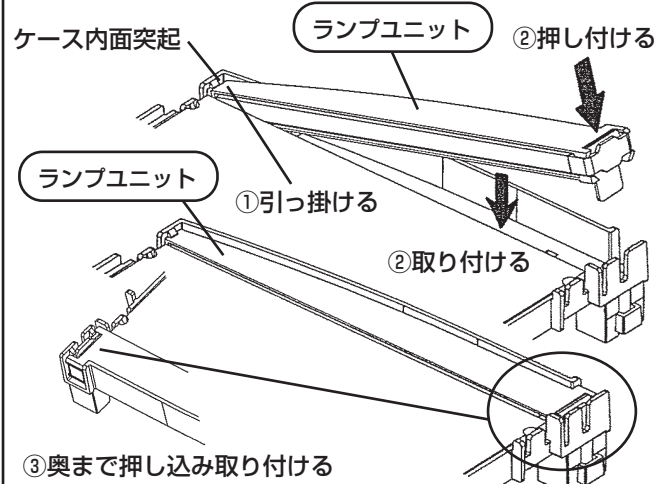
- <蓄電池交換方法>の1の手順どおり行い、ランプユニットセットを取り外す。

注)ランプユニットにはランプコネクタが接続されているので、取り外してください。

- 下図の位置にマイナスドライバーを差し込んでひねりながらランプユニットを取り外す。



- 交換したランプユニットをケースに取り付ける。
①ランプユニットの端部を下図の様にケース内面の突起に引っ掛ける。
②ランプユニットの指示部を押し付けて、ケースにランプユニットを取り付ける。
③確実に奥まで押し込まれ、取り付けられているかを確認する。



- 交換後の取付は「各部のなまえと取付けかた」の手順6.7に従って取付けてください。

使用上のご注意

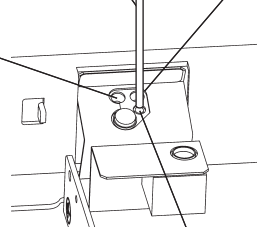
- ランプコネクタ、蓄電池コネクタは **各部のなまえと取付けかた**、**お手入れ・部品交換** にしたがいい処理してください。
- 長時間使用しない場合は、蓄電池をはずして保管してください。
- 点検時以外は点検スイッチを操作しないでください。

ランプモニター（赤）			
		消灯	正常です
ランプの交換時期や異常などをお知らせするものです。		赤色点灯	ランプまたはランプの接続に異常が発生しています。
		赤色点滅	ランプの交換時期の目安です。ランプの点灯時間をカウントし、60000時間後に赤色点滅でお知らせします。
リモコンの確認スイッチを押した場合		1秒間点滅（4回）	点検不可（充電時間不足）

充電モニター（緑）

		緑色点灯	正常です
蓄電池の充電がなされているか確認できます。		消灯	蓄電池が充電されていません。非常点灯になっていないか、または、蓄電池コネクタがはずれていないかを確認してください。
		緑色点滅	蓄電池の交換時期の目安です。蓄電池の容量低下を緑色点滅でお知らせします。
リモコンの確認スイッチを押した場合		1秒間点滅（4回）	点検可能（24時間以上充電されている）

先端の細いもの（φ3以下）



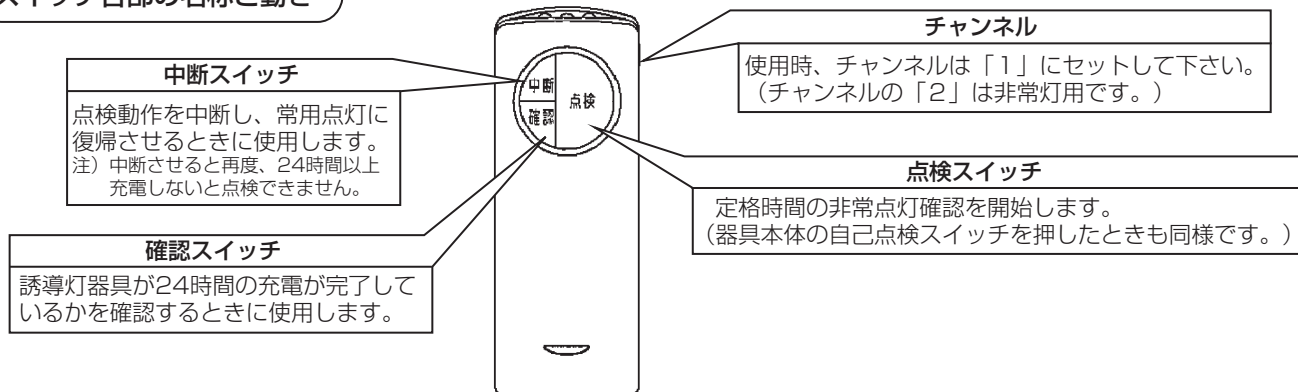
自己点検スイッチ

- ・蓄電池の容量確認検査が行えます。（判定にFA10383は20分、FA10386は60分かかります）
- ・先の細い（φ3以下）物で2秒以上押しと検査を開始します。（充電モニターが消灯します。検査終了後は自動的に復帰します。）
- ・自己点検スイッチの動作には、24時間以上充電が必要となります。（24時間以内に、3秒以上の非常点灯があった場合は動作しません。）

（注）ランプモニターが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

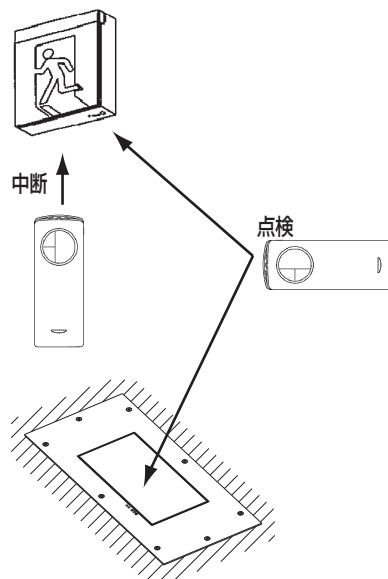
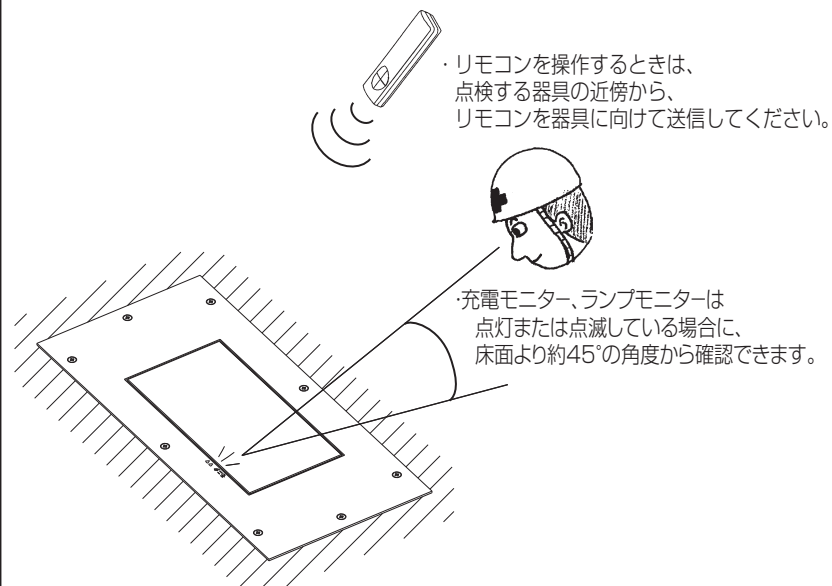
自己点検用リモコンについて 適合リモコン品番：FSK90910K（別売）

スイッチ各部の名称と動き



リモコン操作エリアについて

- ・充電モニター（緑）の位置を確認してから、リモコン操作し、動作の確認をしてください。



器具近傍からリモコンを操作しない場合、隣接する器具も受信してしまうことがあります。その際は、隣接する器具の近傍からリモコンの中断ボタンを押して点検を中断してください。
※中断した場合は、再度24時間充電が必要です。

使用上のご注意（続き）

リモコンによる点検方法

- ・チャンネルを「1」に、セットしてください。（チャンネルの「2」は非常灯用です。）
- ・充電モニター（緑）の位置を確認してください。

1. リモコンの確認スイッチを押し、器具本体のモニターを確認する。

- ・充電モニター（緑）が1秒間点滅（4回）⇒点検準備が出来ています。2.に進んでください。
- ・ランプモニター（赤）が1秒間点滅（4回）⇒点検準備が出来ていません。24時間以上充電してください。

2. リモコンの点検スイッチを押し、器具本体のモニターを確認する。

- ・充電モニター（緑）が消灯（非常点灯に切り替わります）⇒3.に進んでください。

3. 蓄電池の容量確認を、器具本体のモニターで確認する。

（判定に、FA10383は20分、FA10386は60分かかります）

- ・充電モニター（緑）が点灯 ⇒ 正常です。
- ・充電モニター（緑）が点滅 ⇒ 蓄電池の交換時期です。

※ 途中で点検を中段する場合

リモコンの中断スイッチを押し、器具本体のモニターを確認してください。

- ・充電モニター（緑）が点灯（通常状態に戻ります）

リモコンスイッチと器具状態の対応表

	器具の状態		
	充電中 (充電時間24時間未満)	充電完了状態 (充電時間24時間以上)	点検中
点検スイッチ	(充電モニター（緑） 約0.5秒消灯し点灯 に戻ります。	点検開始 (充電モニター（緑） 点灯⇒消灯)	(充電モニター（緑） 消灯したまま)
中断スイッチ	(充電モニター（緑） 点灯したまま)	(充電モニター（緑） 点灯したまま)	点検中断 (充電モニター（緑） 消灯⇒点灯)
確認スイッチ	ランプモニター（赤） 1秒間点滅（4回）	充電モニター（緑） 1秒間点滅（4回）	(充電モニター（緑） 消灯したまま)

■ の場合は充電モニター・ランプモニターの状態に変化はありません。

器具定格・接続図

品 番	電源電圧	周波数	消費電力
FA10383	AC100V	50/60Hz	2.5W
FA10386	AC100V	50/60Hz	2.6W

・通電60000時間後にランプモニター点滅

※接続図については誘導灯ブロックの銘板、定格の詳細については器具の銘板を参照ください。

- ◆定期点検 ・3ヶ月に1回は、破損、変形などの外観の点検をお薦めします。
 ・6ヶ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。
 (点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。)

○設置年月日 年 月 日

○取付場所

○器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな？と思ったときは (お調べの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。)

表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現 象	考えられる原因	処 置
ランプが点灯しない	出力停止モードになっている。	点検スイッチを押す。
	ランプユニットセットが外れている。	ランプユニットセットを確実に接続して点検スイッチを押す。
	信号装置の手動スイッチが消灯側になっている。	点灯側にする。
自己点検スイッチが動作しない	2秒以上押していない。	2秒以上押す。
	24時間以上充電していない。	24時間以上充電する。
	24時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった。	
	24時間以内に蓄電池をはずした。	
リモコンの点検スイッチが動作しない	24時間以上充電していない。	24時間以上充電する。
	24時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった。	
	24時間以内に蓄電池をはずした。	
表示面が暗い	点検スイッチが押されて非常点灯状態になっている。	点検スイッチを直す。
充電モニターが点灯しない	蓄電池が外れている。	蓄電池を確実に接続する。
	点検スイッチが押されて非常点灯状態になっている。	点検スイッチを直す。
ランプモニターが点滅している	ランプの寿命である。	ランプを交換し、リセットスイッチを2秒以上押す。
	ランプ交換時、リセットスイッチを2秒以上押していない。	ランプ交換時は、リセットスイッチを2秒以上押す。
ランプモニターが点灯している	ランプユニットセットが外れている。	ランプユニットセットを確実に接続して点検スイッチを押す。
	ランプが破損している。	ランプを交換して、リセットスイッチを2秒以上押す。
非常点灯しない 短時間しか点灯しない FA10383:20分未満 FA10386:60分未満	蓄電池が外れている。	蓄電池を確実に接続する。
	蓄電池の充電不足である。	24時間以上充電する。
	蓄電池の寿命である。	蓄電池を交換する。
非常点灯中に突然消灯する FA10383:20分以上点灯後 FA10386:60分以上点灯後	蓄電池の早期劣化を防止するため、特定電圧まで下がると消灯します。正常な動作です。	